



学校図書館だより

10月号

令和元年10月
柏市立土中学校
柏市学校図書館指導員
岡部 容子

例年に比べ今年はいつまでも気温の変化が激しく、大きな台風も発生して、自然災害の怖さを知らされました。季節は秋。読書週間に向けて沢山の本を読んでみましょう。



ノーベル化学賞

リチウムイオン電池の発展に寄与した三人

- ①テキサス大学のジョン・グッドイナフ教授（米国・97）
- ②スタンリー・ウィットینگム教授（英国・78）
- ③旭化成名誉フェローの吉野彰氏（日本・71）

この3人の功勞で、携帯電話からノートPC・電気自動車に至るまで数多くの製品に入る軽くて再充電が可能で長持ちするバッテリーが広く使われることができました。

小学校の先生の勧めで、英科学者ファラデーの著作「ロウソクの科学」を読み、自然の原理に触れたことが、化学への興味の原点で子供向けの科学雑誌を読んでさらに幅広い知識を身につけたと言っていました。

自分の性格を粘り強さの一方で相反するようだが『何とかなる』と考える『能天気な性格』。研究には『柔軟性と執着心』が必要とも言っていました。

吉野彰先生の素敵な笑顔が印象的です。

私たちも調べ学習をして沢山の疑問から解明される不思議にトライしてみましょう。



読書週間のイベント

『図書館の本を使って調べてみよう。』

※テーマは自由

例「縄文時代の暮らし」

今月のおすすめ

テーマは 調べる本

『朝日ジュニア学習年鑑』

教育・ジュニア編集部編 朝日新聞出版 <059>

表紙にある年の前年の統計や資料、ニュースなどを網羅した一冊。統計はその年の気候や人口・農産物など様々なジャンルが掲載されています。

1冊でその前年のニュースをたどるのも面白いですが、何冊かを並べてデータを比較するという読み方も楽しいです。たとえば、2013年版と2018年版では高さの違う山が火山だけで5つもあります。

『世界で一番美しい元素図鑑』

セオドア・グレイ著 創元社 <431>

美しい。とにかくこの一言に尽きる一冊です。もちろん図鑑としての機能も優秀で結晶構造や電子配置もひとつづつ分かりやすく図説されています。ですがそれ以上に元素そのものの写真、およびその元素が合成された物質たちの写真が美しい。眺めるだけで時間を忘れます。残念ながら2010年出版分では日本発の元素ニホニウムはまだウントリウムとなっています。